

## まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火） 13：58～15：44

場 所：共和公民館

出席者：9 人

1. 開会
2. 町長挨拶  
※資料確認
3. 説明事項  
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）  
※質疑応答
4. 懇談  
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）  
※自由懇談
5. 閉会

### 《懇談会内容》

質疑：ゴミ袋を投棄していく人がおり、カラスが荒らすためとても困っている。どうすれば良いのか。

町長：役場へ連絡をしてほしい。以前にも中身から投棄者を特定し警察へ届けた事例がある。環境担当に伝えておく。巡回も検討する。

要望：角田の商業施設誘致をお願いしたい。曙団地の住民も買い物が大変であろう。地方とセイコーマートとの連携など良い制度があれば活用してもらいたい。

町長：セイコーマート単体での誘致はかなり厳しいが、公共施設への併設はありうる。バスのハブターミナルと併設なども考えられる。

意見：介護福祉学校の学生減少は、今は各地に専門の学校がありすぎるから学生が来ないのか。きちんと資格が取れるよう強化すれば良いのでは。

町長：国からの補助を受けられるのは町立の大学、短大、高等専修学校のみ学生一人当たり 90 万円の補助がある。日本社会全体の問題なのだから国に優遇を求めたが、国では外国人労働者の活用にシフトしており、逆になぜ小さな町が独自に行っているのかを問われ、単独ではなく道などと連携して進めてはと提言があった。栗山高校の 3 年間に加えて、介護福祉学校 2 年間を融合した高専化も私案として検討中である。栗山高校と介護福祉学校の連携も含め、英語教育充実などさまざまなメニューを用意する必要がある。今後、高校の魅力化に対して町民委員会からアイデアをいただきたい。

意見：三笠高校のように特色が必要。介護はいい特色になると思う。2つの学校は大切であり残すべきものだと思う。

町長：栗山高校は守るべきものだと考えている。

意見：教育や医療への投資はすべきことだと思う。人口もスキー場も何でも長沼に取られたくはない。医療環境がよければ夕張からも人が移ってくると思う。